



沖野の

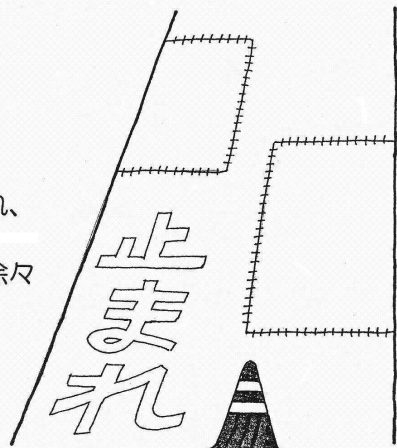
道路事情

町内を歩いていると、パッチワーク状態の道路を目にします

水道局・ガス局など縦割り行政で別々に工事を行うため、終わったと思うと同じ所をまた掘り返しています。

震災後、舗装までできなくても砂利を敷いてくれ、対応は早かったと思います。

けれど、何度も舗装を繰り返しているせいか、徐々に陥没してきている所もあります。



消火栓

消火活動に必要な水を供給するための大切な設備なので積雪時に消火栓が埋まってしまうと、発見が遅くなったり、蓋の周りが凍ってしまうことがあります。

雪かきを怠ると 消火栓だけでなく、道路が狭く日陰が多い場所はいつまでも凍っていて危険です。日常的な事故だけでなく、災害時の避難の妨げにもなるので、協力して除雪をしましょう！

編集後記

○どんな時でも人と人の和を少しずつ広げていきたいと「かわら版」の編集に携わり、切に思う。やさしい笑顔の輪だよね(*_**)

ミチ子

○耳を傾け、ふれあって、心があつたまる。そんなあたりまえのこと、忘れていました。聞き取りにご協力頂き、感謝です(^_^)v

ミワコ

○かわら版に携わるきっかけを下さった方、取材にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

ナホ

○日頃の近隣との付き合いの大事さ大切さが皆様の声の中から見えました。皆様の協力を力に確かな情報を伝えたいと思いました。

ミエコ

○毎回の話し合いが楽しく、集った日は震災について考える一日でもありました。また、自分の無知さに衝撃を受け、反省反省の日でもありました。この会に参加することで良い勉強になりました。エイコ

**OKB5のみぞさん、お疲れ様でした！
次号もよろしくおねがいします。
O:沖野 K:かわら B:版 5:5人**

おきのかわら版編集室
(沖野市民センター内)
〒984-0831
若林区沖野7-34-43
TEL:282-4571
FAX:285-4681
アドレス:
okino@stks.city.sendai.jp

沖野かわら版

創刊号

平成25年3月1日発行

◆震災、伝えたい思い◆

80代 女性
6.12(1978 宮城県沖地震)より、持出し袋に4~5日分の食料を用意してあったので、避難所に行かずに過ごした。特に困ったことはなかった。一度も店に並ぶこともなかった。

80代 女性
避難所のトイレの往復に人の手を借りた。家が壊れ、1年間マンション住まいだったが、以前からのヘルパーさんが来てくれ、心強かった

80代 女性
常に婦人防火クラブで話し合い、準備していたので分けてあげることができた。

80代 女性
近くに親戚がいたので、食事を運んでもらえた。

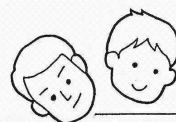
70代 女性
安心できる住居に直した。お隣りと良いつきあいをしているので心強い。

中学2年生
お年寄りをお父さんが車で送ってあげた。

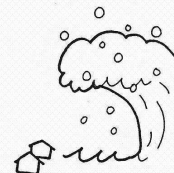
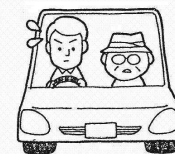
東日本大震災から約二年が経とうとしています。風化させないためにいろいろな形で、震災の記録集が発行されています。
この度、私達OKB5も微力ではありますが、地域防災力強化を目的に、**おきのかわら版**を発行いたしました。
地元の幅広い年齢層の方々から「困った事・不便だった事・情けなかった事・怒った事」と「その教訓を活かして行なっている事・気をつけている事・準備している事」というテーマでお話を聞かせて頂きました。
一人でも多くの方に読んで欲しいとの思いで、●見易く●分かり易く●すぐに役立つ**かわら版**を作りました。
知って得する情報が満載です。どうぞご覧下さい。

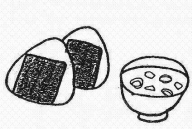
R.T (当時 小学2年生)
同じアパートの人があたたかいお味噌汁とおにぎりをごちそうしてくれた。

A.K (当時 中学3年生)
沖野中学校に避難してきた人達のために働いた。



未曾有の震災を経験した私達ですが、かけがえのない絆を感じることもできました。皆さんの体験を伺い、ご近所同士の助け合いはとても大切だと痛感しました。沖野の皆さんが顔見知りになれるように、挨拶を心がけましょう！



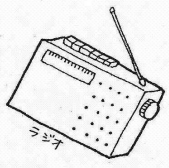


今できることは、すぐにやる！！

60代 女性



デマに惑わされずに
ラジオで正確な情報を!!
そして情報は正確に知らせる!!



30代 女性
お菓子しかなかった。

80代 女性
おむすびを作る時に常に多めに作り置きしている。

牛乳より賞味期限が長く、常温保存ができる豆乳。

Y.E (当時 高校1年生)
キッチンの床下収納にペットボトルの水を準備していたが、
食器棚などが倒れ、取り出すことができなかった。
現在は廊下にある収納庫に移動したので、取り出せる

60代 女性
飲料水、缶詰、インスタント食品など準備している。

30代 女性
乾麺、缶詰など準備している。



ミックスペジタブルなど野菜の冷凍食品も準備しておくとうい。

非常持出し袋の準備を



60代 女性
非常持出し袋を分散しておく

消火器は大丈夫ですか?
定期点検をお忘れなく!!



鉢植えなどは高い所に置かない



60代 男性
非常持出し袋にカイロや毛布など防寒対策を入れている



今回、沖野は水道の復旧が早かったが、万が一の場合、
沖野東小学校に給水所がある

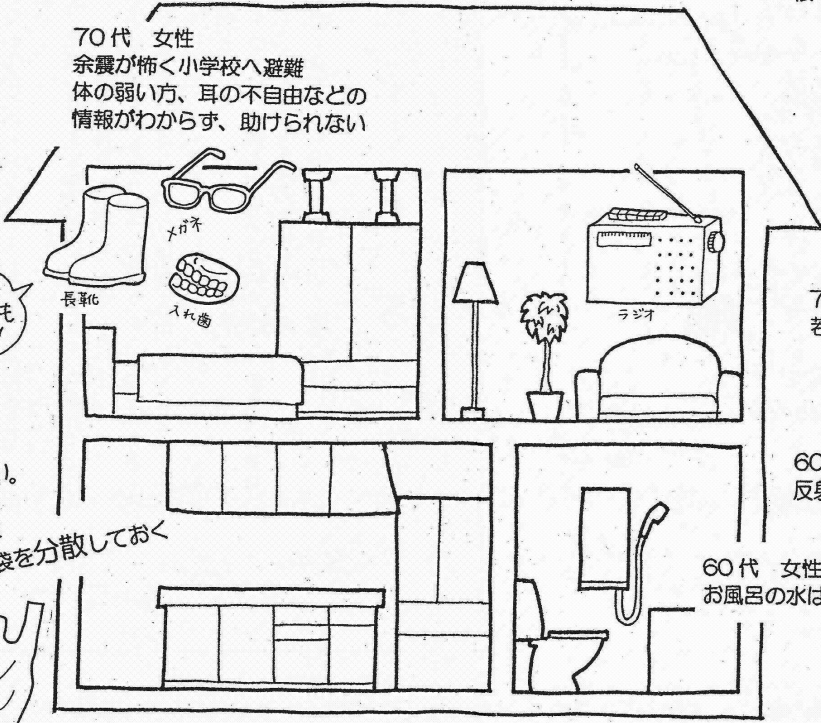


60代 女性
主人が協力してくれず困った。



60代 女性
夫の協力が絶対に必要

70代 女性
余震が怖く小学校へ避難
体の弱い方、耳の不自由などの
情報がわからず、助けられない



60代 女性
震災当日の夜、沖野東小学校に避難したが、
情報が入らず、不安と寒さで大変だった

50代 女性
懐中電灯、ろうそくを準備している

30代 女性
懐中電灯がひとつしかなかった
電池の買い置きがなくて不便だった

60代 女性
携帯電話の手動式充電器を準備している

50代 女性
震災当日、電気・電話が不通
状況がわからず不安だった

50代 女性
情報が少なく不安だった

H.E (当時 小学5年生)
灯りが暗いことが、こんなに人の気持ちを
不安にさせるということを知った

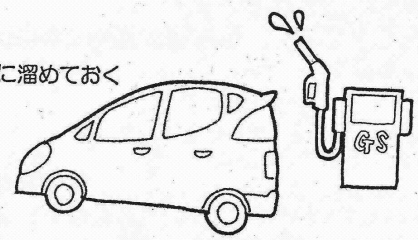
70代 女性
若い方の力が必要

ストーブ、ファンヒーターなどの灯油はこまめに補充をする

60代 女性
反射式石油ストーブ、カセットコンロを購入した

70代 男性
ボイラー転倒防止対策

60代 女性
お風呂の水は常に溜めておく



60代 男性・80代 男性
ガソリンは常に満タンに

60代 女性
ガソリンがなくて困った

30代 女性
食器や電子レンジなどはすべり止めシートが有効

万が一のときに備えて
できる限りの準備をしておきましょう

60代 女性
家族で避難先の確認をしている

常に家族で話し合しましょう
最寄りの避難所の確認!
171の有効利用!

